

平成28年 1 月25日

【大使館からのお知らせ】（タイに渡航したオマーン人がMERSを発症）

在留邦人の皆様

既に報道されているとおり、22日、タイに渡航したオマーン人男性（71）が、MERS（中東呼吸器症候群）に感染していることが明らかになりました。現在、同男性は、バンコク都内の病院に隔離されており、併せて濃厚接触者とみられる37名が隔離措置を取られています。

オマーンからタイに渡航したオマーン人がMERSを発症したのは、これで2件目ですが、かねてから、オマーンでは年間数件のMERSの感染例が報告されています。

MERSは、コロナウィルス的一种と考えられていますが、コロナウィルスは、飛沫感染や接触感染で伝播し、風邪などの一般的症状を引き起こすほか、下痢などの消化器症状も報告されています。

コロナウィルスに対する具体的予防策は以下のとおりです。

- 休息、栄養を十分に取り、体に抵抗力を付ける。
- 手指等の衛生保持に心掛ける。
- 咳やくしゃみの症状がある患者とは、可能な限り濃厚接触を避ける。
- 温度の変化と乾燥しすぎに注意する。
- 高熱、咳、呼吸困難等の症状が見られた時は、適切なタイミングで専門医の診断を受ける。

また、MERSコロナウィルスの特徴及び上記に追加する具体的予防策は以下のとおりです。

- 感染者の約15%が医療従事者であり、救急外来での院内感染が問題となっているため、自宅療養が可能な場合は救急外来の受診を控える。
- 50歳以上の高齢者や慢性疾患（糖尿病、高血圧、喘息、腎障害、心疾患、呼吸器疾患等）を持っている人が感染した場合は重症化するリスクが高く、注意する。
- 特に中東地域では、感染源である可能性が高いラクダとの接触を避ける。ラクダは威嚇行動でつばを吐くことがあるので、不用意な接近は避ける。また、未殺菌のラクダ乳の摂取は厳に慎む。

25日、外務省では、海外安全情報（広域情報）を発出致しましたので、ご連絡致します。（<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2016C028>）

在留邦人の皆様におかれては、特にウィルスの保有宿主とされるラクダへの接触を避けるなど、上記予防策を参考に感染予防に努め、注意してください。